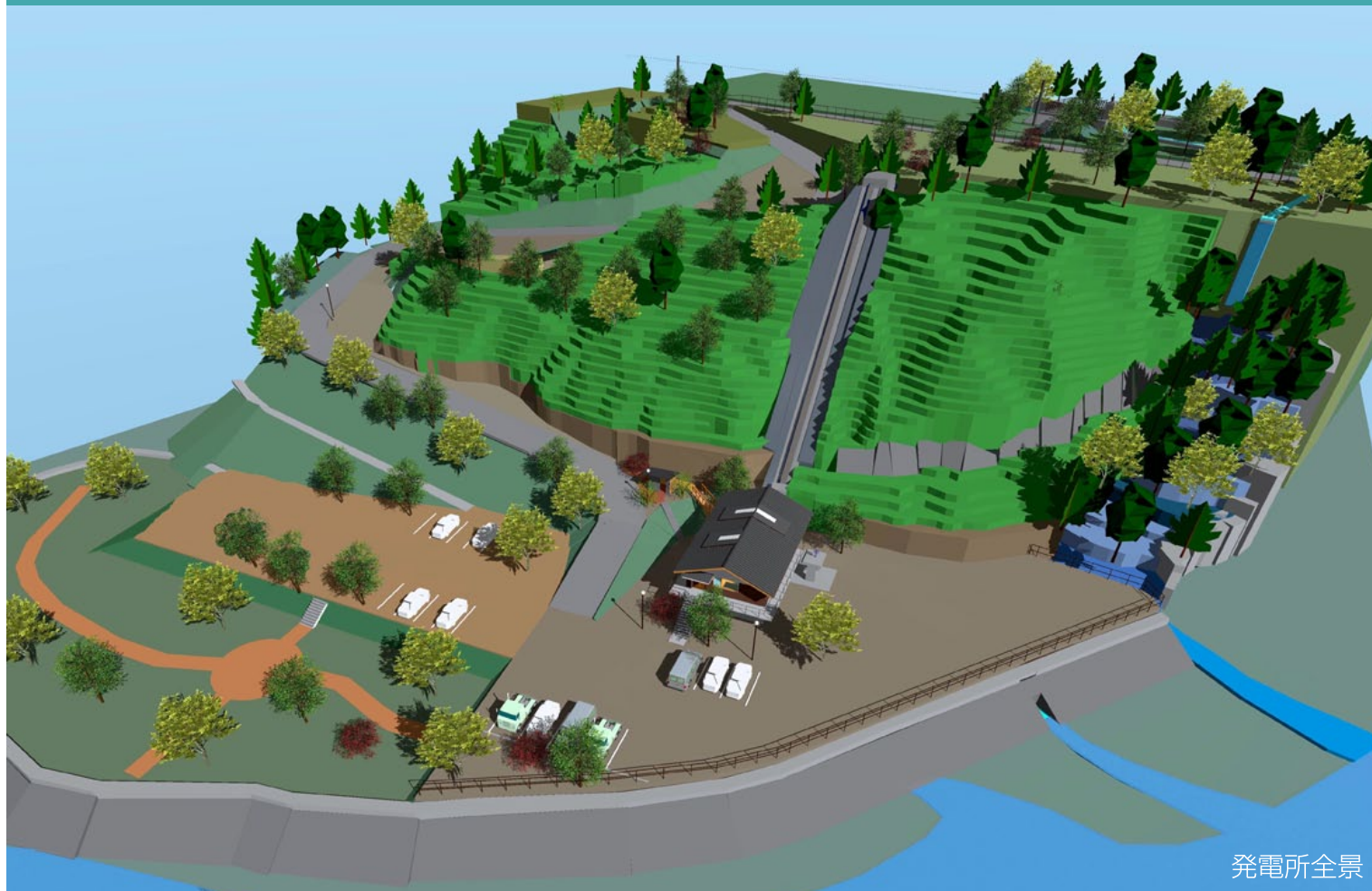


先人が残した市上水路が今、新たなエネルギー源として甦る！

市ノ瀬小水力発電所建設事業

米良電機産業（株） / 事業代行（株）ハイドロクリーン 21



発電所全景

新たな観光資源として見せる発電所

串間市の観光地の一つに数えられる赤池エリアに、市上水路を活用した小水力発電所を、県産材の杉（飢肥杉）を活用した木造施設で建設します。特に地元宮崎で製作された杉と桧のハイブリット集成材を使用し、木組みを活かした構造とし地産地消の利用拡大を図ります。

一方、重厚な発電タービンと軽快で木の温もりのある木組みとの組み合わせで新たな発電所の魅力と可能性を追求します。

DETA

発電所名	市ノ瀬小水力発電所
水車形式	HF-1RS（フランス水車）
最大出力	484kW
定格出力	450kW
最大流量	1.56m ³ /s
有効落差	36.8m

発電所建屋

構造	木造平屋建て
規模	延べ床面積 136.80m ²



発電所外観

事業概要

名称	市ノ瀬小水力発電所
事業主	米良電機産業(株) 事業代行者:(株)ハイドロクリーン21
所在地	串間市大字一氏字矢床2769番地他
事業規模	水路所有者:市上水路会 取水量:最大1.56m ³ /s 落差:35.75m 発電機出力:最大450kW 年間発電量:2,600,000kWh(一般住宅720戸相当) 売電価格:29円/kWh(税抜) 売電先:九州電力 当初は9時~15時の出力制限あり 平成34年12月頃出力制限撤廃予定
スケジュール・その他	平成27年6月 串間市の市上水路会と立地協定締結 平成29年3月 市上水路改修工事着工~現在も進行中 平成29年9月 発電所起工式 平成30年2月 発電所建屋上棟 平成30年3月 発電所建屋完成 平成30年4月 発電機その他搬入据付 平成30年6月 発電所完成 売電開始予定

取組み

再生可能エネルギーの拡大は資源の少ない我が国にとって必須の方策です。特に小水力発電所は太陽光・風力発電とは違い天候に左右されず年間を通して安定した電力を産む事が出来るシステムです。そして今回は既存の市上水路を利用する事で最小限の開発で済んでいます。

また他の発電所建屋はコンクリート造が多いのですが、ここでは構内クレーンを設置しないことで木造建築とすることが可能になりました。

エコツーリズム推進認定を受けた串間市としては、この風景にマッチし、かつユニークな木造小水力発電所は観光施設の目玉となりますし、学校教育の場として活用できます。また事業着手当時から県内テレビ局とタイアップしてニュース番組で放映していますが、完成時にはドキュメンタリー番組とすることを企画していますので県内のみならず、全国でも注目の施設となるはずで



【既存の市上水路を利用】

先人の残した市上水路を利用することにより開発を最小限にとどめることができます。

【見せる発電所】

地元宮崎で製作された杉と桧のハイブリット集成材を使用し、木組みを活かした構造です。新たな発電所の魅力と可能性を追及します。



発電所外観